KISC 11

2018
November

公益財団法人　かごしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

株式会社　東郷
代表取締役　東　成生さん

今号の表紙

長島町の小学校跡地を活用した
コネクター量産工場

TOGO 株式会社　東郷

代表取締役　東　成生

＜企業概要＞

所在地	鹿児島市川田町2194
設立	1985年10月
従業員数	94名
事業内容	精密プレス金型全般・プレス製品・樹脂金型の製造・販売、量産品の製造
TEL	099-298-8050
FAX	099-298-7942
URL	http://www.togo-japan.co.jp/
E-mail	togo-company @ togo-japan.co.jp

今号の表紙は、昨年12月、経済産業省より地域経済牽引事業の担い手の候補となる地域の中核企業「地域未来牽引企業」（全国2,148社、鹿児島県37社）の１社に選定、また、生産性向上の取り組みや女性技術者の育成などが評価され、中小企業庁の「2018年版 はばたく中小企業・小規模事業者300社」にも選定された、株式会社東郷の代表取締役　東成生さんです。

同社は、自動車部品メーカーに技術者として勤務していた東社長がＵターンし、1985年に鹿児島市（旧郡山町）でプレス金型製作を主に創業しました。

現在は、超精密の金型専門メーカーとして、半導体の内部配線に使われる薄板金属の「ＩＣリードフレーム用順送金型」、スマートフォンやタブレットなどの電子回路等の配線を接続する「コネクター用順送金型」や事務機器・通信機器・家電機器・ハイブリット自動車などに使われる「モーターコア用プレス金型」の設計製作、量産や開発を行っています。

また、同社の特徴である地下式工場「地下構造特殊工場建屋」は、年間を通して外気の温度変化に左右されない温湿環境を保ち、金型づくりに重要な環境下で超精密ナノ精度の金型製作に挑戦し、更なる技術革新に取り組んでいます。

生産活動全体の最適化に取り組み、高品質の製品、工程の短縮、低コストを実現し、国内外市場で高い評価を得ています。

2013年に設立したタイ工場も本社工場と同様の地下式工場で、同じ環境下で金型部品を製造しています。従業員の９割は女性で、地元で採用した女性技術者は技術習得のため、本社で１年単位の研修を受けています。

全社で女性技術者の採用や育成を積極的に行っており、女性活躍に取り組む「鹿児島県女性活躍推進宣言企業」として今年８月鹿児島県より登録されました。

◇長島町にコネクター量産工場を増設

近年は、自動車関連のモーター・金型等の開発品の依頼が多くなっており、試作開発から製品の受注に繋げています。

昨年、当センターの「鹿児島県中小製造業者創業・新分野進出等支援事業」を活用して、超精密プラスチック金型開発による高付加価値コネクター製品（USB Type-C）の量産体制を構築し、今年１月、出水郡長島町の小学校跡地を活用し、スマートフォンと充電器を接続する際に使用するUSB Type-Cコネクターの生産、販売を開始。地元企業の高度化、雇用の創出・維持にも貢献しています。

今回の工場増設で製造拠点が３ヶ所になったことにより、リスクを分散し、取引先への供給責任を果たすことが可能になりました。

長島工場での作業風景

◇今後の取組

「まずは量産品の拡大です。長島工場と本社で、５年後を目途に倍増を目指します。自動車の電動化（無人運転）の進展により、自動車関連業界は今後10年、20年、30年と拡大傾向にあります。これまでの技術を生かし、更なる新技術にチャレンジを試み、強固な技術集団で社会に貢献していきたい。」と、東社長は力強く語っておられます。

CONTENTS

2 今号の表紙
3 私の思い
4 経営相談所よろず支援拠点
5 事業承継支援事務局
6 プロフェッショナル人材戦略拠点
7 特集　平成30年度鹿児島県経営品質賞『優秀賞』を受賞
8 応援します！中小企業の経営革新
10 わが社の輝く女性　南薩食鳥株式会社　田中　小夜子さん
11 企業紹介　メイワ医科工業株式会社
12 特集　平成29年度主要事業の支援事例紹介
16 取引振興コーナー

私の思い

独立行政法人日本貿易振興機構
鹿児島貿易情報センター
会長　弓場　秋信

1972年　日本青年海外協力隊員としてマレーシアへ
1981年　弓場貿易を創業
1985年　弓場貿易有限会社代表取締役（株式会社に改組）現在に至る

（公社）鹿児島県貿易協会　副会長、貿易アドバイザー
（公社）鹿児島県工業倶楽部　副会長

JETROの役割と農林水産物の輸出

経済産業省所管の独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）は、諸外国との貿易の拡大や円滑な通商経済の発展を目的としています。鹿児島においては、1970年10月に鹿児島県や関係企業団体の要請によりJETRO鹿児島事務所が開設され、2020年に50周年を迎えます。当初は輸出振興に力を入れていましたが、日本の輸出超過が諸外国、特に米国から問題視されてから輸入促進に転換しました。その後、貿易黒字の縮小とリーマンショック後の日本経済の疲弊から政府の方針が輸出振興に向かい、JETROの取組みも輸入から輸出支援へとなりました。

最近のJETROの主な取り組みは

①海外からの投資を呼び込み、我が国の経済活性化に貢献
　2020年に対日投資残高の倍増（35兆円）

②日本産農林水産物・食品輸出の支援
　2020年に農林水産物・食品の輸出額を現状から倍増（１兆円）

③中堅・中小企業等の海外展開を支援
　今後５年間で新たに中小企業・小規模事業者１万社の海外展開を実現

④調査や研究を通じ我が国の企業活動や通商政策に貢献

上記重点分野の中で鹿児島がJETROに最も期待し支援の実績を上げようとしているのは、農林水産物・食品の輸出と中堅・中小企業の海外展開の支援ではと思います。そこで先ず農林水産物・加工食品の輸出について述べます。

鹿児島県は、農業産出額全国第三位、木材生産量全国第九位、海面漁業・養殖産出額全国第四位と農林水産物及びその加工基地として国内で高い評価と地位を得ています。その実績が国外にも広がり平成28年度の輸出実績は、牛肉などの農畜産物で約73億円、丸太などの林産物で約12億円、養殖ブリなどの水産物で約69億円と合計で約154億円。

これらの実績を踏まえ国内消費の減少を補完し、更なる売上拡大を担う輸出を図る目的で「鹿児島県農林水産物輸出促進ビジョン」作成に向けて、有識者や生産者、流通関係者など14名からなる委員会を設置、４回にわたる議論を経て平成30年３月、輸出額を平成28年度の２倍となる約300億円を目標とする野心的ビジョンを策定しました。策定にあたり小職も委員として意見を述べる機会を得ました。

政府は、農林水産物輸出額を2020年度に１兆円とする目標の実現に向けて様々な支援策を実施しています。農林水産物の輸出にとって問題の一つは輸入関税、数量制限や非関税障壁です。貿易相手国が最も神経質になる第一次産業分野は、自国産業の保護、農作物の病虫害の侵入防止、健康被害への懸念、そしてその時の政治状況です。これらの問題を解決に導けるのは政府であり先頭に立って輸入国と日本からの輸出可能な環境作りを期待したい。

中堅・中小企業等の海外展開は、大部分の企業にとってどこか別世界の出来事で自社には無関係と捉えられていましたが、最近の少子高齢化・市場規模の縮小が目に見える形で売上に現れ、世相の推移を実感するようになっています。企業が海外展開に踏み出すための支援としてJETROでは、人材育成のためのセミナー、海外市場・商品の動向及び海外企業の情報提供、商談会の開催及びバイヤーの招へい等行っていますが、さらに企業の実態・ニーズに合う形での支援を行ってまいりますのでJETRO鹿児島事務所の活用をお待ちしております。

経営相談所
よろず支援拠点

成果が出るまでしっかりサポート！相談は何回でも無料！

売上を伸ばす支援事例のご紹介

～働くコーディネーターシリーズ～　第一回

よろず支援拠点では、中小企業・小規模事業者・個人事業主の皆様方のあらゆる経営相談に応じています。経営課題の根本的な原因を明らかにするために、相談者から詳細なヒアリングを行った上で、課題解決に向けた具体的なアドバイスを行います。今回は、事例紹介と共に担当したコーディネーターの支援の際に注目したポイントなども含め、ご紹介したいと思います。

◆事例１◆

お客様に注目してもらうための、お店の「顔」の作り直し

パティスリー・ルセット（霧島市）

【相談内容】創業15年。移転後から売上が低迷。隣接する店舗が空き、これを取得できたが、そのスペース増設をどのように売上拡大につなげていくか悩み相談。

【支援内容】増設スペースを既存の店と一体化し、イートインスペースを加えコーディネートした。人気商品である「CAKE BAR」を前面に押し出し、お店のコンセプトとして外壁に PR した。

【支援のポイント】イートインスペースが出来たことにより、既存のお客様からは好評。歩行者や車からでも目を引く外観 PR や入りやすい入口への変更など、集客増加に向け取り組んでいる。

新設された
イートインスペース

お店の人気商品を
図形化

担当コーディネーター
満留　隆一

６月からよろずメンバーに加わりました。事業者様の悩みや、ご相談から、幸せに繋がる本質やポイントは何なのか？ということを念頭に、事業者様が笑顔になれるように精一杯支援させていただきます！

〈専門分野〉食・IT・広報販売戦略全般

◆事例２◆

もともと目指していた強みを「専門化」

海鮮丼専門店笑福（鹿屋市）

【相談内容】海鮮を軸に居酒屋として１年。オープンしてみたものの、売上低迷への対策としてメニューを拡大したことで、“大衆食堂”のようになってしまい、お店の強み（コンセプト）が見えなくなり、なかなか集客に繋がらない。

【支援内容】「海鮮」を強みとすべく「海鮮丼専門店」として伝え方を明確化。店内外メニューなどデザインを統一したことで専門店として生まれ変わった。

【支援のポイント】デザインを統一したことで社員のモチベーションが上がり自信を持って接客や営業活動をすることができた。アドバイスの結果、人が集まり良い仕事ができることに気づいていただけた。

海鮮丼専門店として
店内外のイメージを統一

メニューに使う画像の
アドバイスなども行った。

担当コーディネーター
松田　貴志

デザインや支援そのものがお客様を呼ぶわけではありません。事業者様の心が変わらなければ、私たちの支援は効果がありません。事業者様の心が変われるようにお手伝いします。

〈専門分野〉販売戦略、デザイン、コンセプト

相談予約は、
「鹿児島県よろず支援拠点」まで
お願いします。
お気軽にご相談ください。

◇鹿児島県よろず支援拠点
所在地：〒892-0821　鹿児島市名山町９番１号　県産業会館１階
ＴＥＬ：099-219-3740　ＦＡＸ：099-223-7117
E-mail：yorozu@kric.or.jp　URL：http://www.kric.or.jp/yorozu/
【相談日】　月曜日～金曜日　午前８時30分～午後５時15分
（祝祭日、年末年始を除く）

事業承継支援事務局

◇事業承継支援事務局が本格稼働開始

鹿児島県事業承継支援事務局では、県内中小企業の円滑な事業承継をサポートする体制を強化するため、新たに２名のブロックコーディネーターを配置しました。

また、支援事務局の取組内容について県内中小企業支援機関へ周知し、県内における事業承継支援の機運醸成を図るため、９月５日に「キックオフセミナー」を開催しました。

セミナーには、九州経済産業局、鹿児島県、プッシュ型事業承継支援高度化事業全国事務局、かごしま中小企業支援ネットワーク構成員（各地域の商工団体や金融機関等）の支援担当者など72名（42団体）が参加し、事業承継支援の考え方や支援事務局の事業概要の説明を行ったほか、「円滑な事業承継に向けた準備と支援者の役割」と題して（独）中小企業基盤整備機構九州本部南九州事務所の酒匂健寿事業承継コーディネーターによる事業承継支援担当者研修会を行いました。

上：あいさつする古川理事長
右：セミナーの様子

これから、オール鹿児島での取組みとして、かごしま中小企業支援ネットワーク及び各地域の実務専門家（税理士、中小企業診断士、弁護士等）との連携のもと、県内中小企業の早期・計画的な事業承継に向け、具体的な課題の解決を無料で支援する専門家派遣などの個者支援が本格化します。

ブロックコーディネーター紹介

上原　光博
コーディネーター
（薩摩ブロック担当）

佐土原　寿
コーディネーター
（県央・大隅ブロック担当）

～専門家派遣で課題解決をお手伝いします～

- √　スムーズな承継に向け、事業承継計画を作りたい。
- √　承継すべき自社の強みを整理し、経営基盤を強化したい。
- √　事業承継税制の活用についてアドバイスがほしい。
- √　相続等の法務についてアドバイスがほしい。
- √　後継者育成に取り組みたい。　　など

専門家派遣等のお問合せは、

◇（公財）かごしま産業支援センター　鹿児島県事業承継支援事務局
ＴＥＬ：099-219-8123　ＦＡＸ：099-219-1279
E-mail：syoukei@kric.or.jp
ＵＲＬ：http://www.kric.or.jp/outline/keiei/jigyousyoukeihaken/

プロフェッショナル人材戦略拠点

企業のチャレンジを担える人材とのマッチングをお手伝いします！

◇鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点事業のご紹介

鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点では、人材戦略マネージャーをはじめ４人のスタッフが、登録人材紹介事業者や地域金融機関等と連携して、県内の高い成長力を持つ企業や新たな経営戦略・プロジェクト等に取り組もうとしている企業の方々と、都市圏等のプロフェッショナル人材の皆さまとのマッチング・採用をサポートしています。

採用成約は49件（拠点開設以降累計）

平成28年１月の拠点開設以来、650件を超える企業訪問や相談対応を行い、具体の求人活動に至った271件のうち、49件（人）のプロフェッショナル人材の採用成約が実現しました。

（平成30年10月末現在）

《企業訪問・相談活動の実施状況》

平成30年10月末現在

区　　分	今年度累計	開設以降累計
企業訪問・相談件数	２３４件	６５３件
求人取次件数	１１１件	２７１件
採用成約件数	２３件	４９件

※　拠点開設：平成28年１月29日

◇◇第４回「プロ人材求人相談会」を開催しました◇◇

プロ人材の求人ニーズを具体的・効率的な人材マッチングにつなげるため、去る８月24日、地域金融機関の協賛を得て、県内求人企業23社と人材紹介事業者９社との「求人相談会」を開催しました。

求人相談件数は29件。企業が求めるプロ人材像は、総務や経理の統括人材をはじめ、商品開発や販路拡大人材、技術部門の有資格者など多岐に亘っています。

この相談会の内容を踏まえて、人材紹介事業者によるプロ人材の人選と紹介、面談等が進んでおり、10月末現在で、２件のプロ人材の採用が決まりました。

相談会を契機に、多くのプロ人材の採用・成約につながることを期待しています。

【第４回求人相談会参加企業のマッチング状況】

平成30年10月末現在

採用成約に至った案件	２件
面談設定・面談中の案件	８件

※ 過去３回求人相談会の採用成約件数　26 件

今後とも、県内企業の成長発展を人材面で積極的にサポートします。

まずは、
「プロフェッショナル人材戦略拠点」に
ご相談ください。

◇（公財）かごしま産業支援センター
鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点
ＴＥＬ：099-219-9277　ＦＡＸ：099-219-1279
E-mail：projinzai@kric.or.jp
ＵＲＬ：https://www.kagopro.jp/

特　集

今別府産業株式会社が 平成30年度 鹿児島県経営品質賞『優秀賞』を受賞！

鹿児島県経営品質賞は、「顧客本位に基づく卓越した業績を生み出す経営の仕組みを追求し、経営品質向上プログラムを実践している組織を表彰する」ことにより、県内企業等の経営品質向上活動への取組みを促進し、県産業全般にわたる活性化を図ることを目的として、平成16年度に当センターが創設した表彰制度です。

本年度は、８月８日に開催された判定委員会での表彰推薦を踏まえ、10月15日に表彰式を開催しました。

【平成30年度　鹿児島県経営品質賞】　優秀賞　今別府産業株式会社

・代表者：代表取締役社長　今別府　英樹
・所在地：鹿児島市新栄町15－7　　・社員数：100名
・業　種：建設資材卸売業、建設業　　・ＴＥＬ：099-256-4111、FAX：099-256-7118
・ＵＲＬ：http://www.imabeppu.co.jp/

受賞記念撮影

受賞スピーチをする今別府社長

【受賞理由】

■「スペックイン提案」定義による顧客価値創造活動の推進

各事業部門が独自に取り組んできた“よりお客様の立場に立った新たな価値提案”を「スペックイン提案」と定義したことで組織全体の顧客価値創造活動が共有され、従来の社内常識にとらわれない、新たな発想で戦略計画策定や行動計画作成を行っていること。

■経営幹部と社員の価値観共有のためのコミュニケーション

経営幹部は、中期経営ビジョン「イマベップウェイビジョン60」の実現に向けて、福岡支店を含む全事業所をＷＥＢ（映像）で結び、全体朝礼・会議・ミーティングにおいて、経営理念「環境（まち）創り　人財（ひと）創り」や「ＹＥＳ、イマベップ（素直・みんなで力を合わせる・元気）」のスピリッツ、ビジョン60に対する考え方、価値観、行動基準を社員へ語り掛けていること。

■オール九州視点に基づくお客様との関係強化

各事業部門は、お客様基準を明確にし、その基準に沿って行動計画を立案し、お客様訪問，営業活動を実施していること。

※鹿児島県経営品質賞の過去の受賞組織

平成29年度	（株）藤田ワークス：知事賞（大賞）	平成23年度	（株）九州タブチ：知事賞（大賞）
平成28年度	（医）愛誠会昭南病院：知事賞（大賞）	平成20年度	（株）九州タブチ：優秀賞
平成26年度	（株）現場サポート：優秀賞	平成18年度	（株）藤田ワークス：優秀賞
平成25年度	（医）愛誠会昭南病院：優秀賞	※記載のない年度は、申請組織なし	

〈鹿児島県経営品質協議会からのご案内〉

・当協議会では、「顧客本位」の組織体制を作り上げることの重要性や、それを実現するための有用な手法である「経営品質向上プログラム」についての勉強会・セミナー等を開催しています。
・経営品質賞への応募を考えておられる企業につきましても、下記までお問い合わせください。
◇鹿児島県経営品質協議会（事務局：かごしま産業支援センター産業振興課内）
TEL：099-219-1272　FAX：099-219-1279　URL：http://kagoshima-mqa.jp/

応援します！中小企業の経営革新！
～経営者のための経営革新支援制度活用術～

■ 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取り組みを支援しています。
■ このシリーズでは、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介します。

キリシマ精工株式会社

西重　保
代表取締役

＜企業概要＞
所 在 地：霧島市国分川原918-7
設　　立：2006年
資 本 金：10,000千円
従業員数：53名
業　　種：電子部品製造業
T E L：0995-73-4311
H　　P：http://kirishima-seiko.jp/

Q. はじめに経営革新にチャレンジしようとしたきっかけと内容を教えて下さい。

計画承認：１回目 平成20年９月21日
テ ー マ：『新工法によるコスト削減及び納期短縮』

当社は、半導体部品や光通信部品など精密金属部品の製造・加工を行っています。

10年ほど前ですが、部品の製造・加工業務は受注競争による価格競争が激しく、売上は、順調に推移していても、利益の確保が年々難しくなっている状況でした。

他社との競争で有利になるためには、より一層のコスト削減や納期短縮の必要がありました。

特に、当時行っていた『ワイヤー放電加工』において、バリ取りなどの仕上げ作業や中間検査等の作業が多く発生し、コスト負担や納期への負担の面で問題となっていました。

そこで、新工法である『カーブカット工法』を開発し、経営革新計画の承認を受けました。

これにより、コスト削減・納期短縮・品質向上で、他社よりも優位に立つことができました。

Q. ２回目の経営革新にチャレンジしようとしたきっかけと内容を教えて下さい。

計画承認：２回目 平成28年12月26日
テ ー マ：『検査工程高度化による品質向上及びリードタイム拡大による生産拡大』

社　屋　外　観

製造した部品の測定検査については、従来、測定顕微鏡を使用して、手作業で検査を行っていました。しかしながらこの方法では、測定者によって差異が出てしまい、品質が損なわれ、人員を効率的に配置することも出来ませんでした。

そこで、検査部門の高精度化・省力化を図るために、CAD/CAM プログラムを利用したトレーサビリティ体制を構築し、２回目の経営革新計画の承認を受けました。これにより、品質の大幅な向上と測定時間の短縮を実現し、取引先からの更なる信頼獲得にも繋がりました。

さらに、効率的な人員配置も可能となり、生産性の向上を図ることができました。

Q. 経営革新計画承認で受けた支援制度はありますか。

経営革新計画の実施に伴い、日本政策金融公庫の低利融資を利用しました。これにより、マシニングセンターや３次元座標測定器などの経営革新計画を実施するための設備投資を効果的に行えました。

『はばたく中小企業・小規模事業者300社』受賞

弊社は、こうした取組のおかげもあり、中小企業庁が選定する、2017年度『はばたく中小企業・小規模事業者300社』に『生産性向上』部門で選定されました。

Q. 今後の事業展開について教えて下さい。

今後は、歯列矯正用器具製造技術確立に伴って、医療器具製造分野等の新分野に進出していき、積極的に事業拡大を図っていきたいと考えています。

《経営革新支援制度のご案内》

新商品の開発･生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

【承認基準】 ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取り組みであること。
②付加価値額と経常利益の数値目標が次のとおりであること。

経営指標 ＼ 計画年数	３年	４年	５年
付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費）	９%以上	12%以上	15%以上
経常利益（営業利益－営業外費用）	３%以上	４%以上	５%以上

【支援策の内容】 ①政府系金融機関による低利融資 ②信用保証の特例 ③県補助金 など

【お問い合わせ先】 鹿児島県経営金融課 経営支援係
TEL：099-286-2944（直通） FAX：099-286-5576 E-mail：shien@pref.kagoshima.lg.jp

経営革新計画承認手続きのフロー

県庁経営金融課への問い合わせ・相談

対象者の要件，経営革新計画の内容，申請手続・窓口，支援措置の内容等ご相談ください。

【経営革新計画の申請・相談窓口】
県庁経営金融課経営支援係
ＴＥＬ：０９９－２８６－２９４４
ＦＡＸ：０９９－２８６－５５７６
Ｅ－mail shien@pref.kagoshima.lg.jp

かごしま産業支援センター，各商工会・商工会議所等でも相談を受け付けています。

経営革新計画の承認に当たっては
・現在の事業内容
・新しい取り組みの内容
・既存事業との違い
・売上高等経営の向上を示す計数（付加価値，経常利益）の伸び
・希望する支援策等
を整理する必要があります。

必要書類の作成，準備

計画承認申請書は県庁経営金融課に用意しています。また，県のホームページからもダウンロードできます。
http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/syoko/shien/kakushin.html

県及びかごしま産業支援センター，各商工会・商工会議所等では申請書の書き方，ビジネスプランの作成の仕方等をアドバイスしています。

支援機関への相談及び事業実施に必要な要件等のクリア
○ 支援策の利用策（支援機関）への相談・調整等
※ 計画の承認は支援措置を保証するものではありませんので，県への相談と併せて支援機関にも相談してください。
○ 法規制に対する行政機関等への相談・認可等
・ 各種営業許可
・ 各種規制等への条件整備等

申請書の提出

申請書の提出先は県庁経営金融課（本社所在地が鹿児島県内の場合）です。
申請書提出先は申請代表者・実施主体者の構成によって決定されます。

申請に必要な書類は
① 経営革新承認申請書（様式第１及び別表１～７）
② 補助様式１～３
③ 定款
④ 最近３期間の決算書（営業報告書又は事業報告書，貸借対照表，損益計算書，勘定科目内訳明細書）
⑤ 残高試算表
⑥ 最近２期間の法人税確定申告書及び附属明細書
⑦ 県税に係る納税証明書
⑧ その他参考資料（営業許可書等の写し，パンフレット，図面，見積書など当該計画に関するもの）

経営革新計画の承認

受付後，経営革新計画の内容等について審査が行われた上で承認となります。
計画開始後，フォローアップのために計画進捗状況調査等が行われます。

承認は金融機関等からの融資等の支援措置を保証するものではありません。

各種支援策の活用等

①補助金 ②低利融資 ③信用保証の特例
④高度化融資制度
⑤中小企業投資育成株式会社法の特例
⑥小規模企業者等設備導入資金助成法の特例
⑦ベンチャーファンドからの投資
⑧特許料等の軽減措置
⑨販路開拓コーディネート事業
⑩県制度資金による融資(新事業チャレンジ資金)

各支援策は，計画の承認とは別に各中小企業支援機関の個別審査を受ける必要があります。

経営革新計画の達成

わが社の輝く女性！

今号は、「南九州から日本全国、そして世界へ」九州が生んだ鶏文化の可能性を世界へ発信、種鶏業界のパイオニア南薩食鳥株式会社で、第二営業部取締役部長・福岡営業所所長として活躍されている田中小夜子さんです。

南薩食鳥株式会社

所 在 地：南九州市知覧町郡3635
設　　立：1968年５月
従業員数：98名
事業内容：採卵用鶏の処理・加工・販売
Ｔ Ｅ Ｌ：0993-83-2086
Ｆ Ａ Ｘ：0993-83-2804
Ｕ Ｒ Ｌ：http://www.ajinatori.com/

田中　小夜子
営業本部
第二営業部 取締役部長
福岡営業所 所長

星座　さそり座
福岡県立西鞍手高校卒業
2000年入社

◇会社紹介

弊社は、ブロイラーの親鶏である「種鶏」と採卵を目的とする親鶏の処理・加工・販売をしている会社です。

種鶏は日本でのシェアは40%、親鶏の処理を含めると単一工場では日本一の処理を行っており、「喜びづくり」の経営理念のもと、鹿児島の食文化である「鶏タタキ」や「鶏の炭火焼き」そして鶏肉を、知覧から九州をはじめ、全国のスーパーや飲食店様にお届けしております。

炭火焼きなどの商品群

◇会社での現在の担当部署は

第二営業部の部長・福岡営業所の所長として、私自身が販売することをはじめ、福岡営業所と東京営業所の社員の育成を主な仕事としております。

◇入社のきっかけは

弊社とお取引がある会社の方のご紹介で入社し18年目になります。

◇仕事上での印象深い体験談など

2011年に本社勤務となり、福岡から知覧へ赴任、本社での仕事内容を覚えると共に、今まで販売したことが無い原料肉販売に携わることとなり、四苦八苦しながらもお客様をはじめ、社内の諸先輩に助けていただきながら、２年間の本社勤務を終えることが出来たことです。

人生の中で、寝食を忘れて仕事をする機会を頂いたと、感謝しております。

◇第二営業部部長・福岡営業所所長としての思いや心がけている事

第二営業部の目標に関しては、自分の目標であり、その為に自分自身も新規開拓はもちろんのこと、社員が自分でＰＤＣＡを管理して回せるように、指導・アドバイスを心がけております。

◇会社への思いや抱負について

お客様に必要とされる企業であり続けるように、何事にも果敢に挑戦し、常に変化し続ける事を意識することを抱負としています。

社　屋　外　観

企　業　紹　介

■会社概要

メイワ医科工業株式会社は、ベッドや入浴介助機器など医療・福祉関連製品の製造・販売・レンタル・メンテナンスを行う、鹿児島で唯一の医療福祉機器メーカーです。

建具を作っていた時村友一郎社長の祖父が、戦前に病院から病室用ベッドの製作を依頼されたのが始まりで、1970年に社長の父耕実氏がさくらベッド製作所を設立し、1979年に現社名に変更しました。

以来、医療福祉用具や介護予防、リハビリ用品などの製造から卸、メンテナンスまで自社で行っており、地域密着企業として病院をはじめ福祉施設、老人ホームや在宅介護の現場などのあらゆるニーズに応えて製品づくりに取り組んでいます。

七ツ島の本社と工場

■当社の優れた技術、製品

当社の主要製品は、医療施設向け・福祉施設向けの電動ベッドで、売上高の約３割を占めています。

お客様のニーズに合った使いやすいベッドを、ひとつひとつ丁寧に自社工場で製造しています。現場の声をじかに聞き、専門のスタッフが地元ならではの迅速な対応で、メンテナンスやアフターサービスを行えることが強みとなっています。

また、災害時等の停電で電力が使えない時でも操作できる、ガスバネの働きで背上げの角度調整ができる「ガスバネベッド」も製造しています。

オーダーメイドのベッド

当社の製品は、「鹿児島県トライアル発注制度」「鹿児島県ヘルスケア・ものづくり事業」等に採択されており、今後は、福祉向けや学校向けに県産材を使用した、利用者の癒しになる温かみのある木製のベッドを製作したいと考えています。

メイワ医科工業株式会社

代表取締役
時村　友一郎

所 在 地：鹿児島市七ツ島1-4-8
設　　立：1970年８月
従業員数：20名
事業内容：医療・福祉関連商品の製造・販売・レンタル、医療・福祉用具の修理・メンテナンス、介護用品の販売、住宅改修、介護保険サービス、介護に関するコンサルティング
T E L：099-261-1123
F A X：099-261-1274
U R L：http://meiwaika.com/
E-mail：meiwa@meiwaika.com

入浴介助機器では、利用者の不安を解消し介助者の負担軽減も図る目的で、利用者が横になるストレッチャーではなく浴槽本体を上下させる構造の特殊入浴装置や、入浴用リフターを開発しています。

浴槽本体が上下する特殊入浴装置

すべての製品を開発、設計、メンテナンスまで一貫で行っており、個人のお客様向けに一台からのオーダーメイドでの製品づくりにも注力しており、自社工場で製造された電動ベッドをはじめとした様々な製品や介護関連商品などを、本社のショールームで見て触れて体感することができます。

■当社の企業理念

生きる「カタチ」はやさしくありたい。

人と地球を気遣うやさしい「こころ」がなければほんとの「カタチ」はつくれないと考えています。そして、いろんな「カタチ」がいろいろな環境と融合し、さらなる最適福祉環境社会が創り出されます。

■今後の展望・抱負

介護の担い手不足に拍車が掛かることが懸念されている中、自分たちの生活している鹿児島を改めて見直し、いかに地域の人びとに満足する商品やサービスを創造し、提供できるか「満足の品質」を鹿児島から発信し、あらゆるニーズに「メイワ」だからできることを追求していきます。

特　集

かごしま産業支援センター 平成29年度主要事業の支援事例紹介

（公財）かごしま産業支援センターでは、県内中小企業の総合的な産業支援機関として、新事業創出、戦略的産業振興、地域資源活用、研究開発・技術、マーケティング、情報化等の様々な支援に積極的に取り組んでいます。今号では、平成29年度の主要事業の支援事例をご紹介します。

◇新事業創出等支援

○専門家派遣事業

創業者や中小企業等の経営、情報化、販売、マーケティング等の様々な経営相談に対応して、センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行いました。**（採択13件）**

企業名：㈱アルナ
所在地：薩摩川内市冷水町 551-7
業　種：額縁製造業

《テーマ》
特殊額の新製品開発と販路開拓による売上拡大および従業員の意識改革による生産性の向上

《人工芝を使った特殊額》

《レーザー加工機を使用した商品サンプル》

《支援内容・成果》
取組内容：①現状把握、課題抽出のための財務分析、②過大在庫の解消、③特殊額の新商品開発、④人事制度の導入、⑤今後のビジネスモデルについて専門家から支援を受けた。
具体的な成果：人工芝を使ったユニフォーム特殊額を開発するなど顧客からのニーズに対応できる社内体制が整備されてきている。また、高付加価値な特殊額のネット通販を本格的に開始したところ、個人ユーザーからの注文も増加し、付加価値額の向上につながっている。

○中小製造業者創業・新分野進出等支援事業

創業、新たな分野への進出又は規模拡大に取り組む中小製造業者（今後製造業を営もうとする方を含む）に対し、経営計画の策定や人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を助成しました。**（採択25件）**

企業名：鹿児島ケース㈱
所在地：日置市吹上町与倉 4954-17
業　種：精密板金加工

《テーマ》
超精密板金加工製品の開発による医療関連機器分野への販路拡大

《支援内容・成果》
真鍮、銅など高反射材のレーザー切断、難加工材の特殊形状加工、溶接など高精度の板金加工製品の開発を支援しました。
加工製品の高精度化により付加価値が高まり、医療機器内部の金属部品の板金加工とアッセンブリ(組立）を受注するなど、医療分野への参入を開始しました。

《溶出試験器自動サンプリング装置》

企業名：テックス㈱
所在地：薩摩郡さつま町求名 13572-1
業　種：めっき、アルマイト処理研磨その他表面処理

《テーマ》
医薬品・食品製造向けサニタリータンクの研磨と滅菌技術の確立

《支援内容・成果》
医薬品、食品用ステンレスタンク内部の精密電解研磨技術と SIP 処理（クリンスチーム洗浄）装置の開発を支援しました。
菌の繁殖が抑制される高い平滑度（表面粗度0.5μm<Ry）に研磨し、出荷前の SIP 処理により、医薬品・食品業界が求める滅菌処理水準をクリアする体制を九州内で初めて確立しました。

《ＳＩＰ処理装置（試作機）》

○起業家スタートアップ支援事業

起業を通じた新たな雇用の創出や若者・女性の活躍の場の拡大、地域の活性化を図るため、卸売業、小売業、サービス業で起業しようとする方や起業後２年未満の方を対象に、創業初期に要する経費の一部を助成するものです。 （採択64件）

企業名：暮らしの宿　福のや、
所在地：南九州市頴娃町別府 503-4
業　種：宿泊業（簡易宿所）

《テーマ》
農・食・宿～連携で新たな旅の価値の創出と利益の循環～

《店舗の様子（外観，内観）》

《支援内容・成果》
滞在型観光に関する宿・旅の情報、農業と連携した観光プログラムや農産品紹介をひとまとめにしたパンフレットの作成及びホームページの更新に要する経費の一部を助成しました。
「頴娃を暮らすように旅する」をコンセプトに、パンフレットを作成し、配布したところ、これまで宿や体験プログラムを利用したことがない方からの問合せがあり、新規の顧客獲得につながるとともに、活動の認知度を高めることができました。

◇戦略的産業振興支援

○中核的企業創出プログラム事業

自動車、電子、食品、新成長産業（環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業、航空機関連産業）において、本県の中核的企業を育成するため、経営計画に沿って実施する研究開発、販路開拓、専門家招へい等の取組みに要する経費の一部を助成しました。 （採択４件）

企業名：㈲K・アクセス
所在地：鹿児島市東開町 5-17-1
業　種：自動車部分品・附属品製造業

《テーマ》
エンドユーザーのニーズに合わせたコンセプトカーの製造販売

《車載用リチウム蓄電システム（製品名：クロス）》

《クロス搭載キャンピングカー》

《支援内容・成果》
取組内容：①経営計画の作成、②車載用蓄電池の開発、③架装（※）技術の強化、④知名度の向上及び販売促進に取り組んだ。　※車両などに積載されている装備
具体的な成果：研究開発では、自社製品となる車載用リチウム蓄電システムの開発及び当システムを搭載したキャンピングカーの製品化に成功し、テレビや雑誌のメディアに取り上げられるなど大きな宣伝効果を得ることができた。また、外部研修により架装技術の高度化に努めた結果、車両製作の幅が広がった。営業分野では、大手中古車販売企業との提携による販売網の拡大や展示会出展により自社の知名度が向上し、販売台数の増加につながっている。

○重点業種研究開発支援事業

自動車、電子、新成長産業（環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業、航空機関連産業）に係る新技術や新製品の研究開発を行う中小企業者等に対し、その経費の一部を助成しました。　（採択５件）

企業名：アロン電機㈱
所在地：薩摩郡さつま町永野950
業　種：はん用機械器具製造業

《テーマ》
メッキ品及び異形切削工具チップの外観検査装置の開発

《支援内容・成果》
品種ごとに複雑な形状の切削工具チップのうち、市場で50％を占めるメッキ品と異形切削工具チップの外観検査技術確立と高性能自動検査装置の開発を支援しました。
本事業で、検査のための新しい照明方式や検査速度を速める手法が開発され、目標とする工具の外観自動化検査装置を開発することができました。
今後、試作機の公開などを通して販売促進を目指す予定です。

《工具チップ外観検査装置》

○食のプレミアム商品開発支援事業

国内外の高付加価値商品の購入層をターゲットに、付加価値の高い商品づくり（商品の開発・改良や商談会への試作品出展等）を行う県内の食品関連事業者に対し、その経費の一部を助成しました。　（採択８件）

上野食品㈱（阿久根市）
《テーマ》
地元の魅力を「タケノコ」で発信！地域資源を活用したお土産用商品の開発及び販路開拓

タケノコお土産セット

鹿児島くみあい食品㈱（鹿児島市）
《テーマ》
鹿児島の伝統黒酢と基幹作物であるお茶（新茶葉）を組み合わせた健康的な清涼飲料水の商品開発

ピーチサンルージュ

㈱下園薩男商店（阿久根市）
《テーマ》
地域の特性を活かしたラー油（調味料）等の開発及び直売所「イワシビル」で販売する付加価値商品のブランドの販路開拓

焼海老辣油

㈱全笑（大島郡喜界町）
《テーマ》
喜界島特産の白ごまセサミンカプセルの商品化
喜界島ブランド唐辛子のブランド構築と商品化

・長寿の島のゆず七味唐辛子
・長寿の島のセサミン（白ごま）

福山黒酢㈱（霧島市）
《テーマ》
シェフ監修による地域ブランドフルーツを使った飲料の開発

生フルーツ黒酢

㈱ＹＳフーズ（鹿児島市）
《テーマ》
鹿児島の特産魚であるブリ、かんぱちなどを使用したスマイルケア食品をはじめとする機能性商品の開発

スマイルケア食品シリーズ

㈱和香園（志布志市）
《テーマ》
６次産業を活かした新商品開発と販路開拓・拡大

フレーバーグリーンティー（大隅ゆず）

㈱オキス（鹿屋市）
《テーマ》
SATSUMA（温州みかん）・レンコンをブレンドした「未来型・甘酒サプリ」の開発・販路開拓

◇地域資源活用支援

○地域資源活用・農商工等連携新事業創出支援事業

地域資源（農林水産物・観光資源等）を活用し、事業化を目指す中小企業者等、若しくは農商工連携の促進に資する取組における研究開発、試作品開発、販路開拓等に要する経費の一部を助成するものです。

（採択５件）

企業名：㈱竹之内組
所在地：垂水市浜平1879
業　種：建設業、食料品製造業

《テーマ》
鹿児島県垂水市産赤エビを活用した赤エビスープの開発

《“とんとこ漁”で水揚げされた赤エビ》

《とんとこ海老のスープと商品パッケージ》

《支援内容・成果》
垂水市の地域資源である赤エビを活用した粉末スープの開発及び販路開拓に要する経費の一部を助成しました。
開発された新商品「とんとこ海老のスープ」は、「2017かごしまの新特産品コンクール」において「奨励賞」を受賞されたほか、山陽新幹線での車内販売（明治維新150周年記念「維新山口・鹿児島フェア」の期間限定）が決定するなど販路拡大につながりました。

◇研究開発・技術支援

○新事業研究開発助成事業

新技術、新製品等の開発など技術高度化を志向する中小企業者等に対し、研究開発や試作品開発等に要する経費の一部を助成しました。

（採択１件）

企業名：㈱ＤＩＴ
所在地：霧島市国分新町
　　1567-1
業　種：金属製品製造業

《テーマ》
高靭性ハイブリッド型パッシブ制震デバイスの開発

《支援内容・成果》
木造住宅を主な対象とした有効な耐震補強用のデバイスとなる高減衰ゴムを充填した筒形のダンパーと滑り接合部とを組み合わせたハイブリッドシステムの研究開発を支援しました。
本事業で，デバイスの最適設計と性能評価（右写真）、制震機構（システム）の性能評価を行うことで、本システムが耐震補強に有効なデバイスであることが明らかになりました。
今後、実装を通した技術評価を行い、大臣認定を取得し、販売に向けた準備を行なう予定です。

《静的せん断載荷実験》

◇◆◇　取引振興コーナー　◇◆◇

新たな取引先開拓に向けて機械要素技術展への出展を支援

当センターでは、県内中小企業に優れた加工技術等をアピールし新たな取引先を開拓してもらうため、多くの発注企業担当者等が来場する機械要素技術展への出展を支援しています。

◇機械要素技術展（東京）

平成30年６月20日（水）～６月22日（金）
会場：東京ビッグサイト
総出展社数：2,580社
来場者数：88,679名（３日間合計）

出展企業	㈱飯塚製作所	鹿児島精機㈱	㈱上岡重工
	㈱中川製作所	㈱パーツ精工	マトヤ技研工業㈱

鹿児島県ブース（東京）

◇機械要素技術展（大阪）

平成30年10月３日（水）～10月５日（金）
会場：インテックス大阪
総出展社数：1,233社
来場者数：38,679名（３日間合計）

出展企業	アロン電機㈱	㈱サツマ超硬精密
	ネクサスプレシジョン㈱	フォービステクノ㈱

鹿児島県ブース（大阪）

取引あっせんの実施状況と効果

【H28年度取引あっせん案件～１年後も約６割が取引継続、取引金額は当初の約６倍に拡大】

当センターでは、平成28年度に277件の「取引あっせん」を行い、81件、59,972千円の取引が成立しました。１年後の状況を調査したところ、取引を継続しているものが約６割で、金額は当初の約６倍に拡大していることがわかりました。このように当センターの「取引あっせん」は県内中小企業の新たな販路や受注機会拡大に大きく貢献しています。引き続き効果的な取引あっせんに努めてまいります。

《調査結果》

【平成28年度】

◆取引あっせん　277件
◆成立件数　81件
◆取引金額　59,972千円

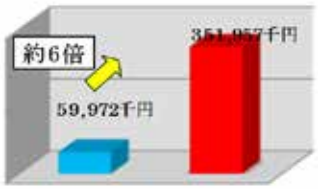
１年後の状況調査 →

【平成29年度】

◆取引件数　52件（約６割）
◆取引金額　351,957千円（約６倍）

取引の継続状況

取　引　金　額



28 年度　　1 年後

ISO審査
教育・研修
ＩＳＯ広場
地元で安心
コストも安い
JAB・ANABを選べる審査代理店
南日本審査株式会社
〒899-5431 鹿児島県姶良市西餅田 3344-2
TEL:0995-64-5727　FAX:0995-64-5078
URL://www.minami-sinsa.com お気軽にご相談ください

情報 KISC 2018.11月号（季刊誌：年４回発行）
発行者：　公益財団法人 かごしま産業支援センター
〒892-0821　鹿児島市名山町9-1　鹿児島県産業会館２F
TEL：０９９－２１９－１２７０（代表）
FAX：０９９－２１９－１２７９
E-mail：kisc@kric.or.jp
URL：http://www.kric.or.jp